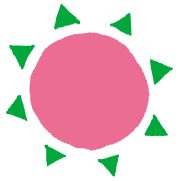


参加者
大募集!!

「世界の防災に向けて、私たちが伝えたいこと！」 ワークショップ



岩手・宮城・福島の子どもたちと一緒に話してみませんか？



地域や学年をこえて、いろんな仲間と出会えるはず。

自分の経験から、“防災についての思いや意見を世界に伝えたい！”という、みんなの参加をお待ちしています！

2013年3月31日(日)～4月1日(月)

【場所】 茂庭荘(宮城県仙台市)

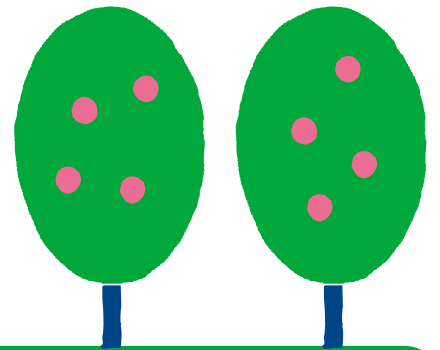
【対象】 岩手・宮城・福島県の小学5年生以上18歳未満の子ども

※県外に避難している子どもたちも、参加できます。

【定員】 30名

【参加費】 無料(交通費・宿泊費・食費、保険等も弊会が負担します。)

【申込み締切】 3月19日(火)



岩手・宮城の子どもたちが

国連事務総長特別代表(防災担当)に提言書を提出



2012年7月 世界防災閣僚会議

今年の5月、ジュネーブで世界の防災(災害リスク軽減)について話し合う国際会議、第4回グローバルプラットフォームが開催されます。

セーブ・ザ・チルドレンでは、この会議で“世界に向けて自分たちの思いや意見を伝えたい!”という東北の子どもたちを募集しています。まずは3月31日～4月1日に実施するワークショップに参加ください!

ワークショップ参加者の中から、子どもたちが選んだ代表メンバーが5月の国際会議に参加できます♪

国際会議で

各国の仲間と子ども・若者宣言を発表!



2012年10月 アジア防災閣僚級会議

福島の子どもたちが

国連事務総長特別代表(防災担当)と意見交換



2013年2月

「世界の防災に向けて、私たちが伝えたいこと！」 ワークショップ

●スケジュール●

3月31日(日)

11時40分 各地(*)から仙台駅に集合、
バスで移動(仙台駅→茂庭荘)
12時15分 茂庭荘到着、昼ごはん
13時30分 「世界の防災に向けて、私たちが伝
えたいこと」について話し合い①
18時
★初対面の子ども同士でも楽しく参加できる内容です♪
18時 晩ごはん、交流会、おふろ、就寝
★晩ごはんの後は交流会や温泉もあります♪

4月1日(月)

7時30分 朝ごはん
9時 「世界の防災に向けて、私たちが伝
えたいこと」について話し合い②
12時30分
★グローバルプラットフォームの参加者を子ども同士で決定!
12時30分 昼ごはん、ふりかえり、
バスで移動(茂庭荘→仙台駅)
14時30分 仙台駅到着、
各地(*)に移動し、解散

※各地から仙台駅間の移動は個別にご相談の上、対応させていただきます。

●概要●

【場所】 茂庭荘(宮城県仙台市)

【対象】 岩手・宮城・福島県の小学5年生以上18歳未満の子ども※県外に避難している子どもたちも、参加できます。

【定員】 30名

【参加費】 無料(交通費・宿泊費・食費・保険等も弊会が負担します。)

【申込み締切】 3月19日(火)

※お申込みいただきました方には、詳細をメールまたは電話にてご連絡いたします。

【申込み方法】 下記の内容を明記の上、Eメール、電話、またはFAXにてお申し込み下さい。

①氏名(フリガナ)、②(4月からの)学年、③住所、④電話番号、⑤メールアドレス、⑥保護者氏名

※④について:こちらからお電話をさせていただく場合があります。ご連絡がしやすい番号をご記入ください。

【申し込み先・問い合わせ先】 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 仙台事務所 担当:中村

Eメール:soft@savechildren.or.jp 電話:022-399-7431 FAX:022-263-4562

●保護者のみなさまへ●

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(以下SCJ)はすべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現されている世界を目指し、世界約120カ国で活動を展開する国連公認の国際子ども支援NGOです。

SCJは、地域の復興に向け、子どもたち自身が声をあげ、社会に参加できるように、様々な活動をしています。その一環として、岩手県や宮城県にてSCJが実施する「子どもまちづくりクラブ」のメンバーが、2012年7月に世界防災閣僚会議、同年10月にアジア防災閣僚級会議に参加し、また、2013年2月には福島の子どものたちが国連事務総長特別代表(防災担当)と意見交換しました。これらの活動を通じて、子どもたちは自分たちの経験にもとづきながら、防災(災害リスク軽減)についての思いや意見を世界に発信してきています。(当日の様子については、表面の写真をご覧ください。)

今年5月に実施される第4回グローバルプラットフォームでは、2015年に日本で開催される第3回国連防災世界会議で決定する予定の「ポスト兵庫行動枠組」について話し合われる予定です。そこで、SCJでは、東北の子どもたち自身が、地震、津波そして原発事故という複合災害である東日本大震災の経験をもとに声をあげ、子どもたちの意見を世界の防災(災害リスク軽減)に関する計画に反映してもらうためのワークショップを実施します。たくさんの子どもの参加をお待ちしています!!



参加者
大募集!!